

授業改善プラン

特別支援教科（ 美術 ）

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。改善策として ICT の活用を導入するものは**太字**

	観 点	1 学期	2 学期		3 学期	小中一貫の 取組
		今年度の取組 昨年度の課題から	分析	具体的な改善策	改善プランの評価 来年度に向けて	
全学年	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 制作手順の説明を目の前の実演によって行う。 ICT を活用して、参考作品やイメージを提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵の具やはさみなど基礎的な技能の習得には個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の身体能力に合わせた材料・用具を扱い、技能の確実な定着を図る。 		既習の技能をいかせるような表現に取り組んでいく。
	思考力・判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> 平面や立体など様々な素材やテーマを授業に取り入れる。 向かい合って活動することで、お互いの表現を自然と見ることができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒によって他の生徒の表現の良さを認める発言ができています。また、言語化がむずかしい生徒も、教師ができていることを言語化するように努めることができています。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、様々な素材やテーマで活動を設定するようにし、生徒それぞれのできることを認めあえる環境をつくる。 		既習内容を確認し、授業に生かす。
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発言や取り組んでいる様子から、学習内容を決定し、意欲的に取り組めるような題材を決定していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発言やできることから題材を決定することができています。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、柔軟に題材開発を検討し、生徒が最後まで取り組めるような環境を設定していく。 		既習内容を確認し、授業に生かす。

カリキュラムマネジメントの視点から

生徒の活動の様子をふりかえり、次回の活動内容を柔軟に変化させていく。